



No. **36**
30.May.2016

日本ホスピス緩和ケア協会

NEWS LETTER

ニューズレター

Hospice Palliative Care Japan

日本ホスピス緩和ケア協会事務局
〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
ピースハウスホスピス教育研究所内
TEL 0465-80-1381 FAX 0465-80-1382
Website <http://www.hpcj.org/> E-mail info@hpcj.org

メッセージ：2016年 年次大会を前にして

専門緩和ケアの確立と地域ネットワーク作り- これからの10年に向けて -



特定非営利活動法人
日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

平成28年熊本地震について

2016年 4月14日～16日にかけて、熊本県から大分県にまたがる地域を震度6～7の強い地震（平成28年熊本地震）が襲いました。死者・行方不明者あわせて49名、負傷者は1500名余りと言う甚大な被害をもたらしましたが、現在もなお地震活動は終息していません。2011年の東日本大震災以降、まさに私たちは「天地動乱の時代」を生きています。

今回の災害で亡くなられた方々にこころから哀悼の意を表するとともに、被災された方々の辛い生活を思うと心が痛みます。1日も早い生活の再建と生活基盤の復旧が望まれます。常任理事会では、4月15日から九州在住の矢津理事を中心に九州支部、とくに熊本県、大分県の会員施設の被害情報の収集に努めました。これらの地域の会員施設は程度の差こそあれ、地震による何らかの被害を受けましたが、なんとか診療を継続できているという状況でした。そこで、6月11日に予定されている九州支部大会では「熊本大震災の現場からの叫び：問題点と課題」と題された発表と討論がもたれます。常任理事会では、九州支部大会での討論を共有して、熊本地震被害への協会としての支援を検討したいと思っています。

がん医療と緩和ケアのあり方をテーマに

2016年度年次大会は 7月17日（日）～18日（月）の両日に渡り、昨年と同じく東京ビックサイトを会場に開催されます。大会の1日目は総会とシンポジウム、2日目は分科会+管理者セミナー・MSWセミナーを開催します。

第1日目の総会では、2016年度事業計画・予算をお諮りし、専門委員会の活動、認証制度の実施、そして九州支部から熊本地震に関する報告を予定しています。

その後、日本ホスピス・緩和ケア協会と日本緩和医

療学会の共同企画による【シンポジウム；がん医療と緩和ケア：緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・在宅緩和ケアの役割】（座長 志真泰夫：日本ホスピス緩和ケア協会、加藤雅志：日本緩和医療学会）を開催します。この企画は、2010年から継続してきた日本緩和医療学会との「専門的な緩和ケアのあり方に関する意見交換会」を発展させたもので、今後、両組織が「専門緩和ケアの確立」に向けて、どのような協働と取組ができるか、話し合いたいと思います。

わたしは、これまで「がん対策法」のもとで進められてきた「緩和ケアの普及とがん医療への統合」から、さらに一歩進んで地域包括ケアシステムと地域医療構想のもとで進み始めた地域医療の再編成と改革にどのように対処するか、われわれに今問われていると考えています。それは、一言で言えば「いつでもどこでも質の高い緩和ケアが提供できる地域緩和ケアネットワークを作る」方向です。例えば、ホスピス・緩和ケア病棟は在宅緩和ケアを提供する診療所・病院と組んで、地域に緩和ケアを提供する、そして緩和ケアチームは、ホスピス・緩和ケア病棟と在宅緩和ケアを提供する診療所・病院と組んで、患者・家族の事情を踏まえた道案内（ナビゲーション）をする、というように全国各地域で「地域緩和ケアネットワーク」が実態を伴うものとして構築されるかどうか、われわれに今問われていると思います。

これからの10年に向けて

このシンポジウムから第2日目の分科会1～5へ繋がります。分科会1では2018年度診療報酬・介護報酬同時改定にむけて、主として在宅緩和ケアの現状とこれからの報告性に焦点を当てて討論します。分科会2は、施設概要・利用状況調査の結果を臨床の現場でどう活かすか、を話し合います。さらに分科会3は、多職種教育の具体的なプログラムが提案され、今後、緩和ケアの専門性を確立するための教育プログラムを検討します。分科会4は、「実践を通じて成熟すること」というテーマでELNEC-J、SPACE-Nの今後の方向性を論議します。分科会5は2013年度から開始する「ホスピス・緩和ケア病棟における質向上の取り組みに関する認証制度（以下、認証制度）」について認証

制度委員会から具体的なスケジュール、申請方法、認証の基準等についてご説明します。認証制度への申請を考えておられる施設は、ぜひご参加ください。そして、分科会6では「緩和ケアの専門外来」のあり方をテーマに前日のシンポジウムをふまえて、緩和ケアの地域ネットワークにおける外来のあり方を話し合います。

当協会は「専門的な緩和ケアを提供する施設と個人からなる団体」として、「専門的な緩和ケアの普及と

質の向上」に努めることが使命です。わが国のホスピス緩和ケアはこれから10年間余り、これまでに増してさらに激しい変化が起きるでしょう。わたしたちは、緩和ケアの専門性を見失わないために、しっかり「おのれの頭」で考えて、これから先の方向を見定めて、見通しを持つ機会として今回の年次大会を活用してほしいと思います。

秋にかけて実施予定の主な事業

ホスピス・緩和ケア病棟の認証制度の開始（11月）



認証制度開始までのスケジュールです。詳細はパンフレット (<http://www.hpcj.org/khb/ninshop.pdf>) をご覧ください。

年月	認証までの流れ	ケアの質向上のための3つの取り組みを評価します		
		1. 施設概要・利用状況調査	2. 自施設評価共有プログラム	3. 第三者評価・遺族調査
2016年 4月	2016年施設概要・利用状況調査に回答し、調査結果公開を承諾【終了】	①2016年のホスピス・緩和ケア病棟の施設概要、病棟の利用状況に関する全項目に回答している	①2016年の自施設評価共有プログラムに回答し、協会に報告している(協会から結果が返却されていなくても申請可)	①J-HOPE、協会実施の遺族調査を受けている(結果報告から5年以内であれば申請可)
9月	2016年自施設評価共有プログラムを実施・結果を協会に報告【8月下旬に資料を送付予定】	②その結果を協会ホームページで公開することに同意している		②遺族調査を受けていなくても日本医療機能評価機構の付加機能・緩和ケア機能を受審し認定を受けている(通知から5年以内であれば申請可)
11月	認証申請の受付開始 申請書に「質向上の取り組み」状況を記入して提出【10月に資料を送付予定】	①・②いずれも満たしていること		①か②いずれかを満たしていること
2017年 1月	認証委員会が審査			
4月	結果通知・認証状の授与			

注意事項

- 3つすべての取り組みを実施していることが認証条件です。
- 一つでも項目を満たしていない場合は、認証の対象となりません。
- 申請の受付は隔年1回です。随時申請の受け付けはいたしません。
- 次回(2018年)申請受付時に、事前に認証切れの連絡は行いません。

自施設評価共有プログラム（9～10月）



自施設評価共有プログラムは、緩和ケア病棟の「ケアの質改善」を支援するために作られた、自分たちで行うプログラムです。

緩和ケア病棟でのケア提供に携わるスタッフが、自施設のケアについて評価調査票を用いて各々評価するとともに、その評価結果を用いた共有カンファレンスを開いて、ケアの方向や病棟の在り方について皆で話し合ってください。実施のために必要な資料やツールは8月下旬にお送りします。

自施設評価共有プログラムの実施は、認証制度の認証要件となります

ホスピス緩和ケア週間（10月2日～8日）

「世界ホスピス緩和ケアデー（World Hospice and Palliative Care Day）」を最終日とした一週間を、「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスター掲示やセミナー・見学会などの企画開催を通して、緩和ケアの普及啓発活動に取り組んでいます。今年度のホスピス緩和ケア週間は10月2日(日)～8日(土)です。同時期に施設見学会やセミナー・講演会、コンサート等を企画している施設・団体を8月中旬頃より募集いたします。詳細につきましては、後日、協会ホームページ等でご案内いたします。

2016年度 年次大会のご案内

日時 7月17日(日)・18日(月・祝)

テーマ 専門緩和ケアの確立をめざして

【会場】東京ビッグサイト会議棟 (〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1)

【対象】日本ホスピス緩和ケア協会 正会員・準会員・賛助会員

【参加証】事前に参加登録され、参加費のお振り込みが確認できた会員には、6月1日以降、下記のように対応いたします。6月24日(金)までに参加登録証が代表者に届かない場合は、協会事務局へご連絡下さい。当日は、参加登録証の提示で名札と資料をお渡しいたします。

施設会員の方 同一施設から申込みのあった方全員の参加登録証をまとめて、申し込み代表者宛に郵送
個人会員の方 協会にご登録いただいている住所宛に参加登録証を郵送

7月17日 (日)

13:30-14:45 総会

2015年度活動報告・決算、2016年度活動計画・予算について 等

15:00-17:30 シンポジウム

「がん医療と緩和ケア：緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・在宅緩和ケアの役割」

- ◆ 緩和ケア病棟の立場から 石原 辰彦 岡山済生会総合病院 診療部長
 - ◆ 緩和ケアチームの立場から 木澤 義之 神戸大学大学院医学研究科内科系講座
先端緩和医療学分野 特命教授
 - ◆ 在宅緩和ケアの立場から 矢津 剛 矢津内科消化器科クリニック 理事長・院長
- 座長：志真 泰夫 日本ホスピス緩和ケア協会 理事長
加藤 雅志 日本緩和医療学会 専門的・横断的緩和ケア推進委員会 委員長
国立がん研究センター がん対策情報センターがん医療支援部 部長

18:00-20:00 懇親会

7月18日 (月・祝)

9:00-12:00 分科会

- 1) 在宅緩和ケア支援診療所構想についてー在宅ホスピス緩和ケアの基準統一化も含めてー
医療・介護保険委員会
- 2) 新しくなった施設概要調査の集計結果および各施設での利活用について
ー協会は今後どういうデータを収集し、施設にフィードバックしていくべきか考えるー
緩和ケアデータベース委員会
- 3) 多職種教育プログラムの提案
多職種教育支援委員会
- 4) ELNEC-Jコアカリキュラムを基盤とした専門的緩和ケアを担う看護師の育成：
自施設(病棟・チーム)の教育計画をどう設定し実行するか
看護師教育支援委員会
- 5) 認証制度のめざすもの
認証委員会
- 6) 緩和ケア専門外来のあり方
林 章敏 聖路加国際病院 緩和ケア科部長 / 山田 祐司 医療法人愛和会 愛和病院 院長



13:00-16:00 特別企画

緩和ケア病棟運営管理者セミナー

在宅からの緊急入院・病院からの早期入院の
要請にどう応えるかー緩和ケア病棟運営の工夫ー

MSWセミナー

患者・家族の想いを繋ぐ連携とは
ーソーシャルワークの価値・倫理に基づく当事者
主体の連携を考えるー

事務局通信

入会・施設基準届出受理施設について

2016年1月発行のニューズレターでご報告して以降、新たに入会・届出受理の連絡があった施設は、次の通りです。

- ★緩和ケア病棟入院料届出受理施設
- ◇一般病院
- ◎診療所・訪問看護ステーション等

正会員【新入会】

- ★大分県済生会日田病院（大分県日田市）
- ★日野原記念ピースハウス病院（神奈川県足柄上郡）
- ★坂出聖マルチン病院（香川県坂出市）
- ◎ナースコール株式会社（愛知県名古屋市）
- ◎ホームホスピス 結びの家くるみ（福島県福島市）
- ◎清水医院 在宅・緩和ケアクリニック（神奈川県横浜市）
- ◎今立内科クリニック（福岡県久留米市）
- ◎田園調布醫院（東京都大田区）

正会員【区分変更】

- ★岡山赤十字病院（岡山県岡山市）
- ★福島県立医科大学会津医療センター附属病院（福島県会津若松市）
- ★志村大宮病院（茨城県常陸大宮市）
- ★松戸市立福祉医療センター 東松戸病院（千葉県松戸市）
- ★東大阪市立総合病院（大阪府東大阪市）
- ★神戸協同病院（兵庫県神戸市）
- ★北播磨総合医療センター（兵庫県小野市）
- ★黒木病院（宮崎県延岡市）
- ◇相澤病院（長野県松本市）
- ◇宮崎市郡医師会病院（宮崎県宮崎市）

● 求人広告をご利用下さい ●

当協会では、ホスピス緩和ケアに携わるスタッフの充実をはかり、ケアの質の向上を目指すことを目的として、正会員施設の求人広告をホームページに掲載しています。

利用対象：日本ホスピス緩和ケア協会の正会員
 掲載費用：無料
 掲載期間：4ヶ月（毎月1日・15日更新）
 期限以降も継続希望の連絡があれば、引き続き掲載いたします。

【掲載を希望される場合】

会員専用ページから登録票をダウンロードし、必要事項に記載の上、協会事務局まで郵送して下さい。
 ダウンロードができない場合は、事務局までお問い合わせいただければ、登録票をお送りいたします。



準会員

- ・熊本南病院（熊本県）
- ・ファーマホールディング（北海道）
- ・奥山 敦（三重県）
- ・花岡 雅子（非公開）
- ・八塔 累子（島根県・区分変更）

賛助会員

- ・蟹谷 和子（非公開）

会員専用ページのIDについて □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

協会では、ウェブサイトには会員専用ページを設けており、毎年5月にログインIDとパスワードを更新しています。
 会員の方には、本ニューズレターにID・パスワードを記したカードを同封しております。再発行はいたしませんので、各自保管して下さいますようお願い申し上げます。

ご寄付のお願い

私どもの活動は、協会の事業に賛同し、応援して下さいる個人の方、団体からのご寄付によって支えられています。皆様の温かいご支援をお待ちしています。
 詳細につきましては、下記①～④を明記の上、郵便またはメール（info@hpcj.org）・FAX（0465-80-1382）にて事務局までお問い合わせ下さい。関係資料をお送りいたします。

- ①お名前（法人は法人名と連絡担当者名）
- ②ご住所
- ③電話番号
- ④メールアドレス（お持ちでしたら）

直接お振込みいただく場合、振込先は下記の通りです。

[振込先] 三菱東京UFJ銀行 新富町支店
 □ 座：普通預金 3677396
 名 義：特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会 理事長 志真 泰夫

